

大阪府市場だより

第320号

(平成30年10月25日)

発行

大阪府中央卸売市場協会
茨木市宮島1-1-1
TEL (072) 636-3698
FAX (072) 636-3699
MAIL: 36983699@
iaa.itkeeper.ne.jp



絵：「サンマ」磯野 由美（磯丸運送）

市場まつりの成功を！ 「市場施設等整備構想検討委員会」メンバーが決定 定例常駐代表者会議

定例常駐代表者会議が10月18日7時50分から、管理棟4階会議室で開催された。山口議長（大阪府中央卸売市場管理センター社長）の挨拶の後、議事が進められた。

議題1、開場40周年記念市場まつり実行委員会の細田喜代司委員長から、「実行委員会として準備に拍車をかけているところです。事故が起こらないよう安全に配慮しながら、市場まつりが盛況のうちに、来場者の方々にお買得感、満足感を感じていただき、身近に市場を感じていただけるよう、皆様の二層のお力添えをお願いします」と挨拶された。山口議長は、「いいものを安く提供いただき、来場者に喜んでいただけたら、よう一致協力し成功させたい」と述べられた。

議題2、府の余田次長から次の項目について報告があった。「①卸売市場法改正について全中協等の動向・主な論点のほか、府市場の今後のスケジュール（案）として、30年11月に場内事業者との意見交換の開始、31年2月に取引委員会及び運営取引業務協議会を開催、同4月改正業務規定（案）の策定、32年2月府議会に業務規定改正議案を上程することなどが示された。②平成30年度4～8月分の直接集荷販売額（速報値）が約48億5千万円で、前年比較では金額ベースで約1.6億円、3.2%減。同期の市場全体取扱高は金額ベースで約27億円、7.1%減であった。③中央卸売市場活性化協議会の日程は11月12日9時30分に管理棟7階大会議室で開催。議題は経営展望の進捗管理と評価、卸売市場法改正について。④仲卸事業者に対する検査は、18社に対して今月から業務会計・直接集荷等について来年1月末まで実施。⑤地震・台風の復旧工事ご迷惑をかけたが、うおいち大水の社員食堂が10月1日、北果の食堂が10月25日（予定）に営業再開。天井などで復旧工事もれがあればご連絡をお願いしたい。船木場長から

定例常駐代表者会議が10月18日7時50分から、管理棟4階会議室で開催された。山口議長（大阪府中央卸売市場管理センター社長）の挨拶の後、議事が進められた。

定例常駐代表者会議

⑥9月府議会環境農林水産常任委員会での市場に関する審議状況の報告があった。山口議長は、「改正卸売市場法に関して国の卸売業者に対する許可が廃止されるがこれに関する何らかの取り決めが必要ではないか」「食の安全確保のため食品衛生検査所は残してもらいたい」と述べられた。

議題3、管理センターの宮前統括から市場の建替を含む将来ビジョンを策定するため、市場施設等整備構想検討委員会について、メンバーは3ページの通りとし、事務局幹事長は宮前統括にお願いし、府は当面「オブザーバー」として参加し、機が熟せば正メンバーとして就任することを説明され、了承された。第1回会議は市場まつり終了後に案内される。

議題4、板東計量部会長（㈱大支社長）から、10月に実施した水産組合事業者等の計量検査結果を報告。小笠原福利厚生部会長（㈱うおいち支社長）からゴルフ大会、文化祭、ソフトボール大会の結果を報告。議題5、その他でトラックターミナルからの貨物自動車の通り抜けについて、ドライバーへの浸透はなかなか進んでいないので検問等の実施について検討することが報告された。船木場長は、市場法の改正に関して、場内事業者の皆様から忌憚のないご意見を賜りたいと述べられた。



府市場活性化事業

大阪府中央卸売市場では、生鮮食品の消費拡大を図るため、場内事業者、大学や産地と連携し、大阪産(もん)をはじめとする農産物のPRや食育等の事業を実施している。

◆ 阪神百貨店梅田本店と府市場が共同企画 「阪神の魚食普及月間」を開催

農林水産省が定めた10月の「魚食普及月間」に合わせて、阪神百貨店梅田本店とタイアップし、魚介類の魅力を再認識してもらい、消費拡大につなげていくための長期コラボイベントを開催している。10月6日、20日、27日の土曜日には、「大阪の魚特集」として大阪湾でとれる魚を使った試食販売を、フィナーレである10月28日(日)からの4日間は、「中央卸売市場協賛セール」を予定している。



月間中の上記土曜日には、府市場の連携大学の1つである梅花女子大学の学生が考案した6種類のオリジナル料理レシピ配布や試食提供が行われているが、20日には愛媛県フエアとして大庄水産(株)による愛媛県養殖生マグロの解体と即売、同大学生による大阪産鱈の試食提供と学生考案のレシピ配布などのイベントが行われ、多くのお客さんで終日賑わった。協力：梅花女子大学、府管理センター(株)、府中央卸売市場



◆ 追手門学院大学が第六期「追手井」を販売

同大学村上ゼミでは、10月10日と11日に、同大学の食堂棟1階「まいどおきに食堂」(こはんや追手門食堂)で、府市場との提携事業の第6期となる追手井「彩りエスカベツシユ井」を2日間連続、1000杯限定で販売し、好評を博した。



1の開発を目的にしたもので、若者の魚離れ、野菜不足を解消し、少しでも興味を持ってもらうことを狙いとしている。今回の「彩りエスカベツシユ井」は、揚げた魚や野菜をオイルや酢につけこんだ地中海料理と我々になじみのある和食を融合したもの。

東ジャワ州政府議員団の市場視察

大阪府の友好交流都市である東ジャワ州政府と議員団が、10月9日に、府市場を視察のため来場した。同州のアフマッド・ヘリ議員を団長に7名の議員と、同州政府の水産部長ら6名計14名に加えて、同州政府顧問や日本事務所職員らの二行で、10時に市場に来場。管理棟7階の会議室で、船木場長が大阪府民の食を支える流通拠点として大きな役割を果たしている府市場を紹介し、歓迎の挨拶を述べられた。

その後、二行は場内を視察し、2階から青果と水産の仲卸店舗、1階において水産仲卸店舗、ゴミ置き場、冷蔵庫棟を見学。冷蔵庫棟ではマイナス25度を体験してその寒さに驚いておられた。次に、食品衛生検査所では、湯城所長から市場の食品衛生を守る安全安心対策の説明を受け、その高度な安心安全対策に聞き入っておられた。会議室



に戻り、船木場長や宮前管理センター統括に加えて、水産卸(株)うちの金澤鮮魚部長と坂口加工食品部長が出席し、意見交換が行われた。魚の年間消費量がインドネシアでは36kgだが日本ではいくらか(消費量30kg)とか、同国では魚をどどこでいつたかの証明が必要だが、日本にはあるのかといったこと、養殖魚は鯛、クエ、エビだが、日本はどうかといった質疑が行われ、同国のマドウラのちりめんが当市場で好評で月4~5トン入荷していることが話題になり、一気に近さを感じて、意見交換が弾んだ。最後に、大阪府に魚の養殖方法、薬の使い方、

正月用加工食品の展示会

(株)うおいちと(株)大水の西北部支社は、10月2日に府中央卸売市場の水産棟3階各社会議室で、それぞれ「お正月商材展示会」、「正月用煉製品・加工食品展示会」を開催した。年末商談と秋冬商品の棚割の見直しを兼ねた展示会で、部メーカーの値上げに伴う厳しい価格交渉もある中で、会場は多数のバイヤーが来場され、盛況だった。



大阪府中央卸売市場開場40周年記念

市場まつり

11月11日(日) 8:30~12:00

8:30~観覧券・観覧券(無料)・テアリング(無料)・(8:45~イブニングセール)・(9:00~特選)・(9:15~フラスコ産)・(10:00~売切)

旬の野菜・果物・魚の即売

マグロの解体・即売

17道府県JA 水産メーカー4社出店

市場協会ゴルフ大会を開催

市場協会福利厚生部会(小笠原元功部会長)では、10月3日に、東急グランドオークゴルフクラブで22名の参加のもとに第21回大会を開催した。当日は絶好のゴルフ日和に恵まれ、参加者は大いに親睦を深めた。(敬称略)



- ▽優勝…樋口直樹(大果大坂青果(株))
- ▽準優勝…小笠原元功(株)うおいち)▽3位…佐々本功真(大阪北部中央青果(株))
- ▽4位…間宮武(大果大阪青果(株))
- ▽5位…酒井孝博(大果大阪青果(株))

立命館大学から女子大生3人がインターンシップに参加

大阪府中央卸売市場では、市場事業者での就業体験「インターンシップ」の機会を学生の皆さんに提供しているが、今回、茨木市内に新キャンパスを開設し、当市場との間で連携事業を実施している立命館大学の総合心理学部から3人の学生がインターンシップに訪れた。



3人の女子学生は、(株)うおいち、(株)大水、大果大、大阪青果(株)、食品衛生検査所、大阪北部中央青果(株)の順に、日替わりでそれぞれ

府市場として、多忙な業務中にも関わらず、貴重な体験の機会を提供いただいた事業者の皆さんに感謝されていた。

衛 検 だ だ だ

ハンバーガーで食中毒!

食品衛生検査所

今年8月に長野県内のモスバーガー2店舗で食中毒が発生し、3日間の営業停止処分となりました。調査の結果、8月10日から23日の間に関東・甲信地域のモスバーガーチェーン19店舗を利用した客が下痢や腹痛、発熱などの食中毒症状を呈し、そのうち28名が腸管出血性大腸菌O121に感染していることが判明しました。

ハンバーガーパティや野菜などの原材料は、工場で一括して製造・カット等された後に各店舗へ配送され調理されていました。感染源や感染経路の特定には至っていませんが、今回の食中毒は広域に発生していますので、各店舗の食品の取扱いや衛生状態に不備があったというよりは原材料に問題があったと考えられます。

腸管出血性大腸菌は感染力が強く50個程度の菌量で食中毒を起しますが、熱に弱く75℃1分加熱すれば死滅します。主に牛や羊などの腸管内に生息し、生肉や加熱不十分なハンバーグなどが原因食品となっています。また、牛の糞便に汚染された川の水や農作物が原因になることもあります。

食中毒を予防するためには、各作業工程で発生する食中毒を起す原因物質を特定し、それらを確実にやつつける、除去する、または健康被害が起らないレベルまで低減させることです。これらができれば食中毒は発生しませんし、

管理センターからの報告(要旨)

宮前統括から報告のあった主な項目は次の通り。(金額は税抜き)

- 活性化事業 □ハード整備(重点事業) ◆コールドチェーン化に向けての具体的取り組み(水産仲卸売場)▽設計、基本計画策定に向けてコンサルへの業務委託 ▽日建設計に依頼、第3回現地調査・打ち合わせ(10/23・13・30) □ソフト事業 ◆食育教室▽さつまいも収穫祭(10/23・10・30) (5/29に定植)おとは学園児5・6歳児60名*協力・徳島県丁A大津松茂、北果◆松坂屋高槻店とのコラボ▽開場40周年記念企画「うまいんじょ徳島」フェア(10/24)▽徳島の食応援プロジェクトとして追手門学院大学の学生と「せりちゃん」による店頭PR(10/20・27) ◆魚食普及月間(10月)の取り組み▽阪神百貨店梅田本店(週替わりでフェア)▽梅花女子学生による店頭プロモーション(大阪産の魚の店頭試食)(10/20・27)▽マグロの解体ショー(大庄水産)10/20▽せりちゃん×魚組10/31 ◆市場まつりPR▽天王寺動物園「ナイトズ」イベント(10/27・18・00・19・00)せりちゃん、もずやん出演▽MBSラジオ告知放送(10/29・11/2・7・50頃) ◆子守康範朝からてんこもり! ◆番組内11/9、7・20頃「かめばかむほど亀井希生です!」番組内11/10、6時~8時「20秒CM、11/11/11/10
- ごみ問題 □不法投棄の防止 ◆不法投棄件数【9月、12件】▽対策開始前に比べ約91%減少 □青果くず排出状況()は対前年比 ◆9月単月実績 ○排出量 約42トン(▲約9トン、▲18%) ○処理費用(税込)約

| 所 属 | 役 職 名 | 氏 名 | 備 考 |
|--------|------------|-----------|----------|
| 北果 | 代表取締役 | 三 木 博 司 | |
| | 取締役兼統括部長 | 島 崎 隆 介 | |
| | 執行役員果実部長 | 三 戸 部 智 一 | |
| 大果 | 専務取締役支社長 | 酒 井 孝 博 | |
| | 常務取締役野菜部担当 | 樋 口 直 樹 | |
| | 常務取締役果実部担当 | 関 宮 武 | |
| うおいち | 常務執行役員支社長 | 小笠原 元 功 | |
| | 鮮魚部長 | 金 澤 史 博 | |
| | 管理グループ副参事 | 龜 山 真 吾 | |
| 大水 | 上席執行役員支社長 | 坂 東 啓 三 | |
| | 塩冷部長 | 花 木 章 男 | |
| | 管理グループ管理課長 | 西 林 博 文 | |
| 青果組合 | 理事長 | 東 野 達 雄 | |
| | 副理事長 | 永 富 完 次 | |
| | 事務長 | 生 嶋 慎 二 | |
| 水産組合 | 理事長 | 櫻 本 昭 弘 | |
| | 副理事長 | 吉 田 貴 与 志 | |
| | 代表取締役 | 興 計 廣 | |
| 北冷 | 総務部主幹 | 味 岡 真 人 | |
| | 場長 | 船 木 昭 夫 | |
| | 次長 | 余 田 俊 和 | |
| 大阪府 | 総務企画会計担当課長 | 黒 川 英 剛 | オペレーター |
| | 管理担当課長 | 小 園 誠 樹 | |
| | 指導・業務担当課長 | 石 田 芳 則 | |
| | 所長代理 | 岩 尾 曉 美 | |
| 衛 検 | 総括主査 | 桂 誠 一 | |
| | 代表取締役 | 山 口 秀 雄 | |
| 管理センター | 統括 | 宮 前 茂 | 事務局(幹事長) |
| | | 牧 亮 介 | |
| | | 濱 本 佳 代 子 | |

【大阪府からのお知らせ】



OSAKA-KANSAI/JAPAN EXPO 2025

World Expo 2025 Candidate

2025 万博 大阪・関西へ

華やかに文化祭を開催

府市場協会福利厚生部会(部長・小笠原元功(株)うおいち支社長)が主催する恒例の文化祭が、10月4・5の両日、管理棟7階で開催された。60人の方から、1400点の作品が出品され、110人の来場者からは、この日のために丹精を込めた作品の数々に、賛嘆の声が聞かれた。

出品者が余暇を活用して作り上げた絵画、書画、写真、手工芸、陶芸などの作品を発表・展示する場として開催され、今年で39回目を数える。

今回も来場者にお気に入りの3作品に投票していただき、投票の多かった3作品に協会の賞状と副賞を贈呈することになり、「牛乳パッ



クでエコなイス」のせりちゃん(株) 本佳代子氏(府市場管理センター) デッサン画の田治米輝子氏(株) 大水) スマホで撮影した組合せの月面写真の丸山善弘氏(株) 大水) の3人に決まった。3人には、10月12日に、小笠原部会長から賞状と副賞が授与された。

ソフトボール大会 水産組合Bチームが優勝

府市場協会主催の第40回ソフトボール大会は、9月19日から10月12日の4日間、淀川河川公園鳥飼上地区野球場で熱戦が繰り広げられた。今大会は台風21号により予定していた球場のバックネットが破損し利用できなくなり、急遽球場を変更したり、雨天が続いたりした結果、9チームの参加予定が2回戦を含めて3チームの都合が悪くなつて辞退になるなど、天候に恵まれない大会になったが、新たに大阪府管理センター合同チームが参戦し、女性メンバーが活躍したりするなど、参加者は元気がいい、和気あいあいとゲームを楽しんだ。

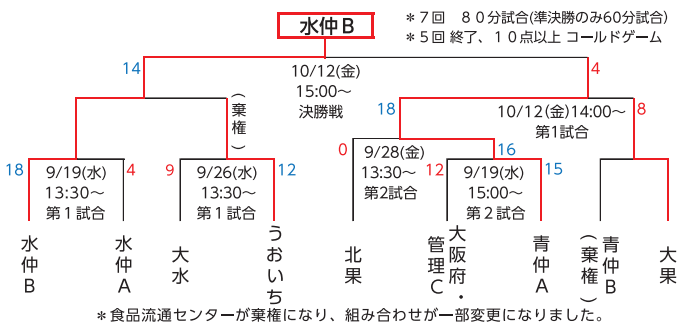
なつた。早朝からの仕事でお疲れのところであったが、元気がいいプレーで、親睦を深めることができた。なお、準決勝と決勝戦は、日程の都合もあり、同日に、2時から青果組合せの準決勝、3時から決勝となり、参加者の皆さんにはいろんな点でご負担をおかけすることになってしまったので、今後対戦日程を組むにあたっては、このようなことにならないようソフトボール実行委員会で検討いただくことしたい。

各チームのメンバー(敬称略)

- ※優勝 水産物卸協同組合Bチーム
監督：濱名清 主将：渡辺健二
選手：伊達宏幸、松谷泰二郎、阪下和巴、此枝良恵、水間功介、西川伸一、吉田直之、林隆史、末吉こうじ、村井祐介、村井けいた、堀池ともや、正木としかず
- ※準優勝 青果卸売協同組合Aチーム
監督：阪口充 主将：下井康裕
選手：西村和洋、長谷川 琢也、石原恭平、柱谷文彦、坂本勉、山田怜司、山田孝也、松田昌博、谷口智計、三浦蓮、吉川生、半田啓介
◎球審：大門(食品流通センター)



第40回ソフトボール大会組合せ試合結果



卸売業者取扱高 (平成30年9月)

| 卸売業種名 | | 種類 | 数量(トン) | 前年比% | 金額(千円) | 前年比% |
|-------|-------|--------|--------|-----------|-----------|------|
| 青果 | 野果 | 9,170 | 82.8 | 2,308,533 | 101.0 | |
| | 野菜 | 4,064 | 84.5 | 1,567,877 | 97.9 | |
| | 小計 | 13,234 | 83.4 | 3,876,409 | 99.7 | |
| 水産物 | 生鮮水産物 | 1,813 | 95.1 | 1,576,405 | 93.4 | |
| | 冷凍水産物 | 231 | 69.5 | 273,489 | 79.7 | |
| | 加工水産物 | 1,050 | 98.4 | 1,040,458 | 106.5 | |
| | 冷凍食品 | 345 | 87.0 | 169,024 | 95.2 | |
| | 小計 | 3,439 | 92.9 | 3,059,376 | 96.0 | |
| 卸売業者計 | | | 16,673 | 85.2 | 6,935,785 | 98.1 |

開場日数(9月) 平成30年 21日、29年 22日



市場協会計量部会(部会長板東啓三(株)大水支社長)では、今年度はじめての計量器定期検査が府水産物卸協同組合等の事業者を対象に実施された。10月2日朝7時から、府市場協会所属の信岡昭洋計量士により、同組合事務局の協力のもと、4日までの2日間かけて検査を実施した。53事業所の124台の計量器を対象に検査を行い、120台が合格した。次回は、11月27日に、卸売会社などの計量器検査を予定している。

計量器定期検査が始まる